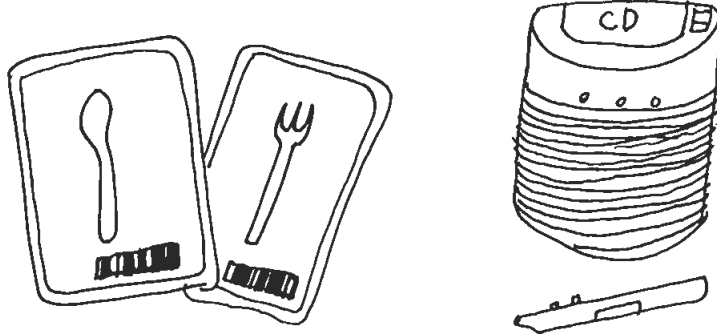


教材事例書式

教材教具名 バーコードリピーター カード	教科(英語)	
----------------------------	---------	--

教材教具写真



教材教具の概略(ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 音声と絵、文字によるマッチングで英単語をおぼえる。
バーコードリピーターを使い、一人で学習することができるようになる。
- 2 発達段階 自閉症で発語がない場合
- 3 使い方 バーコード付きのカードをペン型のリピーターでなぞり、音声が出たら裏側を見て絵や文字、意味などを確認しながらおぼえていく。
動物編、日常生活用品編、昆虫編、スポーツ編、形容詞編など市販の教材を使ってたくさんカードが作れるので一人でも遊びながら学習できる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

特に英語やマッチングに興味を示す児童生徒には、長く使っていける物と感じる。バーコードリピーターの操作もすぐに慣れてきて、音声が出てくるところも興味をひかれる部分のようである。一人で過ごす余暇の時間にも使える。カードはラミネートして保存できるようにしておく。